



# 開まさゆき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 県内全域に拡大・若者の感染増加

# インフルと新型コロナウイルス 同時流行に備えた 医療提供体制を整備



9月定例県議会で代表質問を行う関政幸県議

千葉市緑区選出の関政幸県議(3期)は9月定例県議会で自民党を代表して質問を行いました。県政の重要課題になっている新型コロナウイルス感染症対策について、関県議は感染者の発生状況について聞いた上で、検査体制の確保、病床確保の状況などを質問しました。このほか、災害対策やあり運転取り締まりなどについて、森田知事や千葉県警察本部長らに質しました。関政幸県議の質問と県執行部の答弁を抜粋して紹介します。

関議員 新型コロナウイルス感染症への対応についてうかがう。現在の新型コロナウイルス感染症感染者の発生状況について、どのように認識しているのか。

知事 新型コロナウイルス感染症の感染者は、7月初旬から再び増加し、8月上旬をピークとして、徐々に減少した後、現在は直近7日間平均約30名で推移し

ているところです。

今回の感染状況の特徴としては、「若年層の感染者が多数生じていること」「感染者が東葛飾地域中心の発生から県内49市町に拡大していること」「医療機関、福祉施設、接待を伴う飲食店等でクラスターの発生が続いていること」などの状況がみられ、いまだに予断を許さない状況であると認識

しており、引き続き、感染拡大防止対策の徹底が必要と考えています。

加えて、社会経済活動との両立も考慮する必要がありますことから、事業者・市民の皆様には、新しい生活様式の実践・定着への協力をお願いしています。

関議員 検査体制の更なる拡充に向け、どのように取り組んでいくのか。

副知事 国は、各地域のかかりつけ医で診療・検査を行える体制の強化が必要との考えを示しており、検査能力の目標数値も新たに定める予定となっています。県としては、9月補正予算に計上した検査機器整備への補助事業を活用した検査体制の強化を進めるとともに、各地域のかかりつけ医で検査ができるような体制づくりについて、県医師会とともに取り組み、今後の検査需要の増加に適切に対応してまいります。

関議員 病床確保計画に基づく病床の確保状況はどうか。また、病床確保に向けた支援の実施状況はどうか。

知事 県では、感染者数等に応じて確保する病床を調整していくこととしており、9月24日現在では、635床を確保しています。

また、確保に向けた支援については、入院協力の金の支給のほか、病床の確保に伴って発生する空床・休床

に係る費用補助などの支援を行っています。

こうした中で、医療機関からは支援の更なる充実を求める声もありました。また、医療機関においては、長期に渡り極めて厳しい環境下におかれていることを踏まえ、集中治療室等を除く休床分について、県独自に補助単価を1日1床あたり1万円引き上げることとし、今回の補正予算で25億円を計上しています。

## 10月末を目途に診療体制を強化

### 再質問

関議員 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を見据えて、外来診療体制の強化にどのように取り組んでいくのか。

副知事 県では、かかりつけ医など地域の身近な医療機関に、患者の相談・診療・検査を担っていただくようにすることが大変重要であると考えております。

このため、医師会等の関係機関と連携しながら、医療機関に対し、診療に係る対応マニュアルを配布するとともに、感染防止対策のための補助事業の周知を図るなどの取り組みを進めることにより、10月末を目途として体制の整備を図っています。

関議員 迅速な体制整備の構築に向け、県のリーダーシップの発揮をよろしく願います。

今後、新しい体制での実際の運用の中で、仮に、その担い手として懸命に尽力する関係者が、相対的に多くの損失を被るような不均衡な事態が生じた場合には、県による支援の検討を速やかに行うよう要望する。

### 関まさゆき県議プロフィール

#### 略歴

- 1998年3月 県立千葉東高校卒
- 2002年3月 早稲田大学商学部卒
- 2005年10月 司法試験合格
- 2007年9月 司法研修所終了  
弁護士登録
- 2011年4月 県議会議員に初当選  
(現在3選)

#### 現職

- 県議会 農林水産常任委員会委員長  
がん対策審議会委員
- 自民党県連 青年局長、副幹事長、政務調査会副会長、児童虐待防止対策推進プロジェクトチーム副座長他・・・

●千葉市緑区と県政についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

## 関政幸

議事務所

千葉市緑区あすみが丘 3-51-10  
TEL.043-295-1011  
FAX.043-291-5526



# 台風・大雨災害から1年

## 経験生かし万全な対応を

県執行部の答弁に対して再質問を行う関議員



す。引き続き、事業の促進を図るとともに支給事務を進めてまいります。さらに、防

災体制の強化については、土砂災害警戒区域の指定を進めたほか、検証報告を踏まえて初動対

応を見直すなど、災害対応力の強化を図ったところで

す。引き続き、県民の皆様安心して暮らしていただく

よう、防災力の強化に取り組んでまい

ります。

### 再質問

旧については、未だ応急的な措置が継続している住宅があることから、市町村と連携し、業者紹介窓口の活用促進などにより、一層工事が進むよう取り組んでまいります。

また、被災した農林漁業者や中小企業への支援については、多くの支援策で要望等の受付は完了し、各地で復旧が進んでおりま

副知事 県では、今年度初動対応にあたる職員を対象として、業務内容の研修や図上訓練を実施し、職員の業務の習熟に努めてまい

ります。

りました。

なお、本年4月以降、地震や大雨により、既に3回「災害即応体制」が敷かれ、その際には、該当市町村へ情報連絡員を派遣し、被害情報の収集にあたりま

した。

望 関議員 昨年の台風での経験を活かし

た、初動体制と組織としての万全な対応を確立するとともに、今後、台風や豪雨における風雨が強くなるとい

### 令和3年度当初予算

関議員 令和3年度当初予算はどのような考え方に基

づいて編成しようとしているのか。

知事 来年度の県税収入については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、個人所得や企業業績の伸び悩み

により減少が見込まれ、歳入全体としても増加が見込めない状況でございます。

一方、歳出面では、義務的経費のうち、特に社会保障費や公債費が引き続き大幅に増加して

## 財政状況、極めて厳しく 行財政改革で財源確保

### 県立病院、6年連続赤字

関議員 県立病院の経営状況はどうなっているのか。  
副知事 県立病院においては、ここ数年、医薬収益は伸びているものの、人件費や医薬品費の経費がこれを上回って増加しているため、6年連続の赤字決算となっております。さらに、4月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が減少しており、収支状況はさらに悪化し、本年度中に資金不足が生じるおそれがあります。

を挙げて財源確保に取り組んでまいります。

その上で、真に必要な住民サービスを提供していくため、総合計画により進めてきた取り組みについては、継続性にも留意した上で、重点的に予算を配分すると

### あおり運転行為 積極取り締まり

関議員 あおり運転についてうかがう。改正道路交通法施行後のあおり運転に対する取り締まり状況及び対策状況はどうか。  
警察本部長 県警では、交通に危険を生じさせる悪質・危険な運転を未然に防止するため、「車間距離不保持」「追越し方法違反」など「あおり運転」になる恐れがある違反行為につ

いて積極的な取り締まりを推進しており、本年8月末現在で昨年より278件多い1158件を検挙しております。また、改正道路交通法施行後には、千葉市内において前方走行中の車両の通行を妨害する目的で割り込みや急ブレーキを繰り返した運転行為を、新たに創設された「妨害運転」のうち、より

### 新児童相談所建設候補地 速やかに決定を

望 関議員 児童相談所の新設については、早急に候補地を決定していただきたい。  
現在、児童相談所の新システムの開発を担う事業者を公募中であると聞いてい

罰則の重い「著しい交通の危険」の規定を適用し全国に先駆けて立件しております。さらに、広報啓発についても、様々な機会を活用して改正法の周知に努めており、先般はヘリコプターを活用した陸空一体の取り締まり活動を広報したところであり、運転者に「上空から」も違反行為を見られているかもしれないといった認識を持たせることによる抑止効果も期待しております。

るが、業務の効率化、ケースの適切な進行管理、情報共有などの改善を一刻も早く進めるため、新システムの開発を急ぐとともに、その内容については、現場として使い勝手が良く、さらに将来的にはAIの利用も見据えた「拡張性あるシステム」とするなど、先の条例改正に伴う付帯決議に掲げた「6つの項目」、これは本年6月に策定された基本計画の中にも明記されているが、これらの充足に尽力いただくよう要望する。